

赤十字救急法救急員を取得されたあなたへ

防災士の資格も取得し 減災と社会の防災力向上に貢献しませんか

特例研修
のご案内

赤十字救急法救急員資格取得者にかかる特例のあらまし

阪神・淡路大震災の教訓から、近年「自分の身は自分で守る」「地域のことは地域で取り組む」という国民の意識の新しい変化と共に、民間が自律的に防災に取り組むシステムを作っていかなければならないとする考え方に立って、防災士は、特定非営利活動法人日本防災士機構が養成に努めているものです。

防災士は、自発的意志に基づき自助、共助、協働の精神の基にリーダーシップを発揮して災害から自己と家族、ひいては近隣と地域の生命や財産に対する損害を軽減させる役割を担うものですが、防災士はこれに携わる事によって特別の権限、責務、報酬等が生じるものではありません。

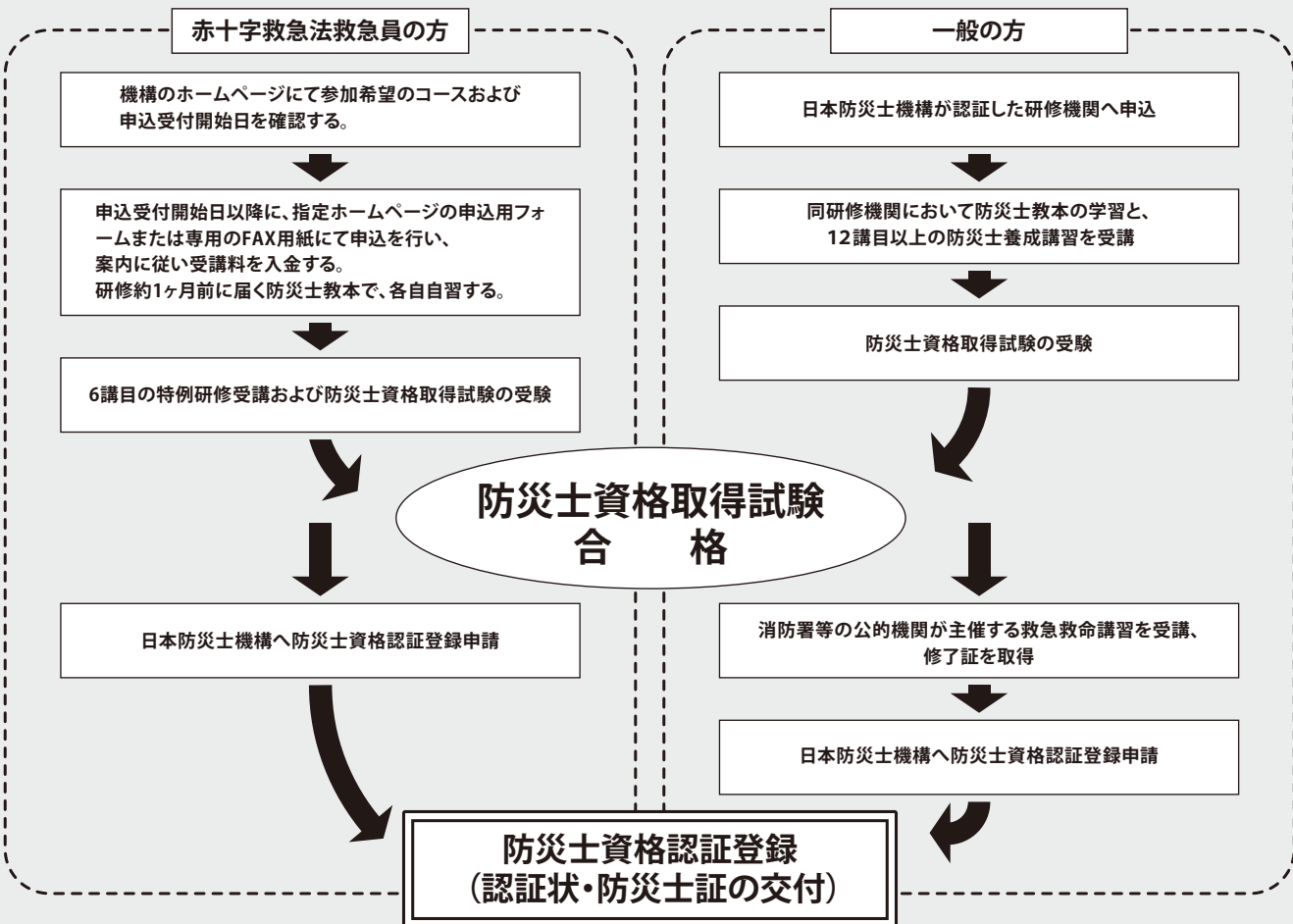
しかしながら、その研修内容や資格基準には公共性・公益性が極めて強いことから、防災士創設にあたっては日本赤十字社をはじめ政府防災関係10省庁が2001年に防災士制度推進委員会に参加されて、社会的貢献の大きなものとして制度設計が構築されました。そして防災士資格創設以来現在に至るあゆみの中で着実に積み上げられた実績と相まって、資格にかかる社会的信認性は一層強固となり、防災士の認証者数も2026年2月に35万名に達し、さらに、全国の自治体、大学等で防災士養成が推進されております。

赤十字救急法救急員の方は、防災士養成特例研修として1日6講目の受講及び“防災士教本”の学習により、防災士資格取得試験の受験資格を得られ、試験合格後は防災士として登録申請をすることができます。(費用は特例研修費用、試験受験料、防災士認証登録料等総額37,400円です。)

特例研修費 29,400円
(防災士教本代 4,000円含む)
受験料 3,000円
認証登録料 5,000円
申込時合計 37,400円

取得一括費用例
※ 63,800円

防災士登録までの流れ



2026年度(令和8年) 赤十字救急法救急員(認定者)が防災士資格を取得する 「特例研修」(1日研修)及び資格試験の手順と費用について

赤十字救急法救急員認定者(指導員も対象)が防災士資格取得を志望(以下申請者と略記)する場合について、日本防災士機構(以下機構と略記)では防災士資格取得にかかる「特例研修」を適用することを定めております。その手順とその所要費用は下記の通りです。(裏面に取得プロセスフローを表記)

- (1) 防災士資格取得を志望する申請者は、機構のホームページ(<https://bousaisi.jp/license/guide/>)及び下記に表示した特例研修会場の申込受付開始日を確認し、受付開始日以降(下記※参照)に、指定ホームページの申込用フォームまたはFAX(詳細は上記ページ記載のリンク先を参照)にて受講申込みをしてください。
 なお、申込み時には受講希望研修日に有効期限内である救急員または指導員の認定証(コピー)の提出を必要とします。
 ※受付開始前の受講予約は受付けておりません。必ず各研修日程の受付開始日以降にお申込みください。
 ※インターネットを利用しない場合のお申込み方法については、
 お電話(防災士研修センター 03-6261-5139)にお問い合わせください。
- (2) 申込み受付の案内(メールもしくはFAX)に従い特例研修費用37,400円(防災士教本代金4,000円及び受験料3,000円、防災士認証登録料5,000円を含む)を郵便局備え付けの払込票にて納付してください。

特例研修概要 および 防災士資格 取得試験	講義 試験	1時間目講義 (9:30~10:30)	2時間目講義 (10:40~11:40)	3時間目講義 (12:40~13:40)	4時間目講義 (13:50~14:50)	5時間目講義 (15:00~16:00)	6時間目講義 (16:10~17:10)	試験実施 (17:30~18:30)
	講目 (例示)	地震・津波 による災害	気象災害 風水害	土砂災害	自主防災活動と 地区防災計画	災害情報と 災害報道	防災士に期待 される活動	防災士資格 取得試験

(学界等各分野の専門家による一日研修の講習会の講義例示です。項目や時間は変更する場合があります。)

- (3) 前項の手続きを完了した申請者に、防災士教本(事前学習教材含む)及び会場案内等を送付します。
- (4) 申請者は防災士教本について自主学習の上、試験受験準備を行ってください。

試験概要	<ul style="list-style-type: none"> ・試験時間は50分間・出題数は30問・出題形式は3択式 ・試験問題は防災士教本の内容から出題し、24問以上の正答で合格
------	--

- (5) 申請者は、研修時に交付された防災士資格認証登録申請書を研修機関(防災士研修センター)へ提出してください。
- (6) 試験の可否結果は、受験者本人宛に試験実施後概ね3週間以内を目処に郵送にて通知します。
- (7) 機構は、試験に合格し防災士認証登録申請書を提出した者について、機構が管理する「防災士認証登録台帳」に氏名等を登載するとともに、申請者に直接防災士認証状および防災士証を郵便にて交付します(毎月23日防災士研修センター必着、翌月末認証・発送)。なお、防災士資格の有効期限は、現時点においては無期限としております。

〈特例研修予定一覧〉

コース名	特例研修予定日	開催予定地	申込受付開始日
東京6月(平日)会場	2026年 6月19日(金)	東京23区内	2026年 4月17日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
東京6月会場	2026年 6月21日(日)	東京23区内	2026年 4月17日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
名古屋8月会場	2026年 8月 2日(日)	名古屋市内	2026年 5月15日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
大阪9月会場	2026年 9月 6日(日)	大阪市内	2026年 6月26日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
東京9月会場	2026年 9月27日(日)	東京23区内	2026年 7月24日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
札幌10月会場	2026年10月 4日(日)	札幌市内	2026年 7月 3日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
福岡10月会場	2026年10月11日(日)	福岡市内	2026年 7月10日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
仙台11月会場	2026年11月 1日(日)	仙台市内	2026年 8月 7日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
名古屋11月会場	2026年11月15日(日)	名古屋市内	2026年 8月21日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
大阪12月会場	2026年12月13日(日)	大阪市内	2026年 9月25日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
東京1月(平日)会場	2027年 1月15日(金)	東京23区内	2026年11月13日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
東京1月会場	2027年 1月17日(日)	東京23区内	2026年11月13日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
岡山1月会場	2027年 1月17日(日)	岡山市内	2026年10月23日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了
広島3月会場	2027年 3月14日(日)	広島市内	2026年12月11日(金) ※10:00~ 定員になり次第受付終了

◎上記日程は予定です。予約受付は定員になり次第終了となります。また災害その他の事情により、日程・会場の変更または開催を中止する場合があります。受付状況、開催地の詳細は日本防災士機構ホームページ<https://bousaisi.jp/license/guide/>よりご覧ください。